２０２２年度事業報告・会計報告

及び２０２３年度事業計画案・収支予算案

2023 年 4 月 26 日

東京都品川区西五反田一丁目 26 番 2 号
五反田サンハイツ内
公益社団法人　日本分析化学会

令和４年度事業報告書

（令和４年３月１日～令和５年２月 28 日）

会員の移動状況書

会員種別	員　数		増減数
	令和5年2月28日現在	令和4年2月28日現在	
名誉会員	48	50	-2
永年会員	320	311	9
正会員	3,143	3,249	-106
学生会員	514	464	50
維持会員	182	182	0
特別会員	511	519	-8
公益会員	304	313	-9
計	5,022	5,088	-66

1. 第 11 回定時総会（定款第 17 条）

日時　令和４年５月 11 日（水）

場所　日本分析化学会 Web 会議方式　総社員数 117 名　出席者数 105 名

2. 会誌，研究報告及び資料の刊行（定款第５条（1））

①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり，電子版にて発行した。

	発行年月日	巻	号
自	令和４年３月５日	2022	3
至	令和５年２月５日	2023	2

毎月１回５日に発行。全ての団体会員と個人会員の希望者には冊子体発行（約 1,500 部）。

②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。

	発行年月日	巻	号	発行部数
自	令和４年３月５日	71	3	1,800
至	令和５年１月５日	72	1・2	1,800

1，3，4，6，7，9，10，12 月５日発行）

③英文論文誌「Analytical Sciences」を Springer Nature 社から電子版にて，下記のとおり発行した。

	発行年月日	巻	号
自	令和４年３月 10 日	38	3
至	令和５年２月 10 日	39	2

毎月１回 10 日に発行

全ての維持会員と特別会員，公益会員及び個人会員の希望者には冊子体配付（約330部）。

④学会，ぶんせき，分析化学，Anal. Sci. ４種のメールマガジンを毎月１回発行した。

⑤教育用 DVD 並びにビデオシリーズの頒布を行った。

3. 講演会，講習会及び研究会の開催（定款第５条（2））

［研究発表会］

①第 82 回分析化学討論会

日時　令和４年５月 14 日・15 日

場所　現地開催及びストリーミング配信（茨城大学水戸キャンパス）　論文発表 318 件　参加者数 579 名

②第 71 年会

日時　令和４年９月 14 日～16 日

場所　現地開催及びストリーミング配信（岡山大学津島キャンパス）講演数 595 件 参加者数 1026 名

4. 調査，研究及び建議（定款第５条（3））

［技能試験］

事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し，結果に基づく「技能試験成果報告書」を公刊した。

①ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 24 回ダイオキシン類分析（海域底質）」　参加試験所　53

②ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第８回放射能分析（しいたけ）」　参加試験所　38

［標準物質］

新規標準物質は作製せず，これまで開発した各種標準物質の供給活動を行った。ダイオキシン類分析用標準物質（海域底質）及び放射能分析用標準物質（しいたけ）について試験所間比較による品質の安定性確認を行った。

［関係団体との協力］

①次の諸団体に参画し，種々の調査・建議に協力した。

日本学術会議，(一社)化学情報協会，標準物質協議会，ASIANALYSIS 国際諮問委員会，(一社)日本化学連合／化学系学協会連絡会

②次の委員会に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。

(一社)日本化学工業協会，(一社)日本試薬協会，(一社)日本環境測定分析協会，(一社)日本分析機器工業会

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第５条（4））

①2022 年度学会賞を次のとおり授与した。

金田　隆　君「レーザーやペーパーデバイスを用いた分離・検出に関する研究」

黒田　直敬　君「生体成分及び医薬品を対象とした精密分離・高感度検出法の開発」

久本　秀明　君「高機能センシング材料・多機能集積マイクロ分析デバイスの基盤技術開発研究」

②2022 年度学会功労賞を次のとおり授与した。

大森　保　君「固相-液相間における微量元素の分配挙動の解明と亜熱帯環境化学への応用及び学会への貢献」

藏　源一郎　君「環状，直鎖状縮合リン酸塩オリゴマーの分析化学研究とそれらの溶液内反応に関する研究と学会への貢献」

③2022 年度技術功績賞を次のとおり授与した。

喜多　純一　君「におい識別装置の開発および実用化への導入」

中川　公一　君「X-バンド ESR イメージング法によるバイオメディカル試料の測定技術開発」

④2022 年度奨励賞を次のとおり授与した。

有馬　彰秀　君「ナノ・マイクロポアデバイスを用いた単一生体微粒子分析法の開発」

井上　賢一　君「和周波発生分光法を用いた新規界面分析手法の開発と界面ダイナミクスの解明」

砂山　博文　君「高感度センシングを指向した分子インプリントナノ空間の創製」

吉田　将己　君「金属錯体の励起状態および準安定状態の精密設計に基づく多様な外部刺激の可視化」

⑤2022 年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。

JAIMA 機器開発賞

渋谷　享司　君「量子カスケードレーザーを用いたガス分析技術：赤外レーザー吸収変調法の実用化」

八幡　悟史　君　野田　健一　君　下村　亜依　君

小田　侑　君　荒川　智　君　八谷　宏光　君

黒田　章夫　君

「生物発光式エンドトキシン検出装置の開発」

⑥2022 年度女性 Analyst 賞を次のとおり授与した。

森内　隆代　君「認識化合物創製とイオンセンサへの応用および PVC 感応膜の新規物性評価法の確立」

リムリーワ　君「キャピラリー液体クロマトグラフィーの高性能化に関する研究」

⑦2022 年度有功賞を次のとおり授与した（敬称略）。

濵田　淳	北井　宏和	植草　里美	森川　正己
角田三保子	松永　聡史	新濱はづき	内田　丈晴
藤原　幸彦	西山　里美	上田　聡弘	石飛　正
伊藤　智也	高橋　誠	三島　圭司	河本美佐江
首藤　博幸	竹内　和幸	山下　任	召田こゆき
金本　誠	萩本　尚友	高屋敷吉秀	国府田浩之
大石　誠	安平　高憲	太田　明宏	池戸　正和
田中美奈子	富永　晃生	福本　真治	重田　京子
廣瀬枝実子	原　和佳子	松井　精司	梅原　一宏

竹内　裕　的野　敦　野口　和良　井澤　隆
江口　智子　土屋　恒治　阿部　孝広　岩本　則政
木村　隆利　三浦　真　川村　美晴　森　透
小柳　敦美

⑧2021年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。
河相　優子　君　白井　亮洋　君　角田　正也　君
井手上公太郎君　末吉　健志　君　遠藤　達郎　君
久本　秀明　君
「インクジェットプリンティングによる試薬固定化法を利用する1ステップバイオアッセイマイクロデバイスの開発」
澤野　理花　君　前島　健人　君　柴田　寛之　君
蛭田　勇樹　君　Daniel CITERRIO　君
「多項目尿検査のための距離検出型ペーパーデバイス」

⑨他機関による表彰及び研究助成に対し会員を候補者として推薦した。

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第5条(5)）

［広報］
広報委員会展望とトピックス小委員会において，第82回分析化学討論会及び第71年会研究発表の中で注目される研究内容を，小冊子「展望とトピックス」にまとめて発行し，ホームページを通し，また，報道機関の記者に同資料を配付して広報した。

［若手交流会］
年会討論会において若手ポスター賞選考を支援し，各支部での若手交流会企画と支部同士の情報交換を支援し，北海道・関東・中部・近畿支部に助成を行った。

［研究懇談会］
研究懇談会活動を次のように行った。

①有機微量分析研究懇談会
【委員長：酒井達子（名城大学），委員11名，会員数161名（個人会員155名，顧問6名）】委員会を2回，オンラインで開催した。第89回有機微量分析研究懇談会，第119回計測自動制御学会力学量計測部会，第39回合同シンポジウムを6月23日・24日にオンラインで開催（計測自動制御学会力学量計測部会と共催，日本分析化学会，日本化学会，日本薬学会協賛，北海道大学創成研究機構グローバルファシリティセンター後援）。その内訳は特別講演2件，口頭発表16件，企業セッション2社，企業&ユーザーズミーティング3社，オンライン技術研修会である。講演会（第71年会9月14日，岡山大学津島キャンパス，招待講演1件）を開催したほか，会報24号を発行（2月）した。ホームページにてアーカイブ資料等を公開し，内容の充実を図った。また標準試料検定小委員会において標準試料の検定作業を行った。

②ガスクロマトグラフィー研究懇談会
【委員長：佐藤　博（長崎国際大学），運営委員会委員56名，会員数103名（個人会員42名，団体会員42機関，名誉会員19名）】運営委員会はメール・遠隔で3回開催，研究会と講習会の運営担当者間では会議を遠隔で複数回開催した。研究会開催数：4回（第377回～381回，第71年会講演，ガスクロマトグラフィー研究懇談会特別講演会を開催した（年会講演以外は会場とオンラインのハイブリッドで開催した。）第27回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会（12月23日，17名）はオンライン開催。東京都立産業技術研究所の見学会（10月28日，28名）を行った。本部主催の日中韓シンポジウム2022（中国）はコロナ禍で中止・延期となった。「ガスクロ・ガスマス自由自在」Q&Aの既刊本の改版とGC/MSの新版を刊行すべく着手した。

③高分子分析研究懇談会
【委員長：菅沼こと（帝人㈱），運営委員18名，企画委員7名，会員数159名（個人会員62名，法人会員97社）】開催数：運営委員会6回，企画委員会4回，例会5回（第409回～413回；5月23日，7月27日，9月1日，12月8日，2月20日），第71年会における研究懇談会講演（9月14日，岡山大学），第64回高分子分析技術講習会（応用編）（3月2日・3日，オンライン），第65回高分子分析技術講習会（基礎編）（9月28日・29日，オンライン），第27回高分子分析討論会（10月27日・28日，名古屋国際会議場）をそれぞれ開催した。また，「分析化学」誌の9月号と10・11月号の2号にわたり，高分子分析特集号「高分子分析－この10年の進歩」を刊行した。

④X線分析研究懇談会
【委員長：早川　慎二郎（広島大学），運営委員30名，参与9名，会員数125名（個人会員104名，団体会員21社）】開催数：例会2回（第277回・278回），運営委員会3回（1回はリモート）。「X線分析の進歩」第53集をアグネ技術センターより出版したほか，第58回X線分析討論会（11月10日・11日，イーグレ姫路で対面開催，参加者162名）を主催した。第17回浅田榮一賞は該当者なし，X線分析討論会において4件の学生賞を選考し授与した。

⑤分析試薬研究懇談会
【委員長：壹岐伸彦（東北大学），運営委員会委員12名，参与委員12名，会員数99名（個人会員97名，賛助会員2名）】開催数：1回。第71年会において，分析試薬研究懇談会（9月15日，岡山大学，講演1件）を開催した。第19回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム（6月4日・5日，岡山大学）を協賛した。和文誌「分析化学」71巻3号にて特集号「分析試薬の可能性を探る」を刊行した（総合論文4報，報文4報，技術論文1報，ノート3報，アナリティカルレポート1報，計13報）。

⑥溶液界面研究懇談会
【委員長：塚原　聡（大阪大学），運営委員10名，個人会員104名】本懇談会を解散することを前提に，特に活動は行わず，今後の本懇談会および本懇談会の委員，会員の在り方について検討を行った。本研究懇談会は今年度をもって解散する。

⑦液体クロマトグラフィー研究懇談会
【委員長：中村　洋（東京理科大学），役員会役員の数：36名，会員数：210（個人会委員：144名，団体会員：55社）】コロナ禍の影響を受け，LC- & LC/MS-DAYs 2022は昨年同様中止に追い込まれたが，12回の研究懇談会（第369～380回，Zoomウェビナー），第28回LC & LC/MSテクノプラザ（2022年1月19日・20日，Zoomミーティング）及び第27回特別講演会・見学会（栗田工業KIH，2023年1月23日）を開催した。LC研究懇談会初めての講習会「HPLC & LC/MS講習会2022」（2022年11月18日，Zoomウェビナー）を開催した。『第5回LC分析士二段試験解説書』（2022年8月1日～）及び『第5回LC分析士三段試験解説書』（2023年2月1日～）のメールでの査読会を開催した。また，「第4回LC/MS分析士三段試験解説書」（2022年5月13日発行，LC研究懇談会），「第5回LC分析士初段試験解説書」（2022年9月30日発行，LC研究懇談会）を発行した。さらに，電子ジャーナル『LCとLC/MSの知恵』の第5号（2022年6月15日発行），第6号（2022年12月15日発行）をホームページに掲載した。下記の日本分析化学会・分析士認証試験を対面形式で実施した：LC初段，LC二段，LC三段，LC四段，LC/MS初段，LC/MS二段，LC/MS三段（LC五段，LC/MS四段，LC/MS五段は受験者なし）。

⑧化学センサー研究懇談会
【委員長：久本秀明（大阪公立大学），会員数45名（個人会員45名）】第71年会において化学センサー研究懇談会講演を行った（9月15日，岡山大学）。大阪大学の大城敬人先生に講演をお願いし，「分析化学におけるAIのセンサー応用の新展開」を拝聴した。多くの参加者があり，議論も盛況であった。また，3年ぶりに研究懇談会委員会を行った。

⑨電気泳動分析研究懇談会
【委員長：石濱　泰（京都大学），顧問8名，常任委員7名，委員32名】第42回キャピラリー電気泳動シンポジウム（SCE2022，10月，山形県鶴岡市）を共催した。

⑩イオンクロマトグラフィー研究懇談会
【委員長：森　勝伸（高知大学理工学部），運営委員会委員21名，会員数79名（個人会員71名，維持会員7社，団体会員1社）】運営委員会を2回（オンライン会議）開催した。The 11th Asia Pacific Symposium on Ion Analysis in Tokyo Japan（オンライン　12月8日　参加者70名）を開催した。第38回IC討論会を開催した（対面　12月9日　参加者42名）。分析士（初段）はリモート試験で開催した（2023年1月30日）。分析士認証委員会を開催した（2023年2月7日）。

⑪フローインジェクション分析研究懇談会
【委員長：手嶋紀雄（愛知工業大学），運営委員会委員50名，

会員数 111 名（個人会員 93 名，賛助会員 10 社，特別賛助会員 8 社)】講演会を 2 回 (年会会期中 (9 月 14 日，岡山大学)，第 58 回 FIA 講演会（11 月 25 日，湊川神社 楠公会館)）を開催したほか，Journal of Flow Injection Analysis 誌の発行（39 巻 1，2 号）及びそのための編集委員会を 2 回 (6 月と 12 月，メール会議)，また褒賞委員会を 1 回（9 月，岡山大学）開催した。

⑫環境分析研究懇談会

【委員長：梅村知也（東京薬科大学)，委員 8 名，顧問 7 名，会員数 73 名（個人会員 70 名，グループ会員 3 名)】講演会を 1 回（年会会期中（9 月 15 日，岡山大学）開催した。また，運営委員会もその翌日に対面で開催した。

⑬表示・起源分析技術研究懇談会

【委員長：安井明美（(国研）農業・食品産業技術総合研究機構)，運営委員会委員 16 名，参与 4 名，個人会員 46 名，団体会員 14 社】3 月 10 日に第 26 回講演会を(対面＋オンライン）のハイブリッド形式にて，10 月 14 日に第 27 回講演会を原則対面にて開催した。運営委員会はオンラインにて 3 月に 1 回開催した。

⑭分析化学技能研究懇談会

【委員長：上本道久（明星大学)，運営委員会委員：11 名，会員数：20 名（個人会員のみ)】当研究懇談会独自の講演会は年度内開催を中止し，第 72 年会で懇談会講演を行った。同日に運営委員会を開催して今後について議論すると共に，委員長と事務局を交代した。

⑮熱分析研究懇談会

【委員長：西本右子（神奈川大学)，運営委員会委員 8 名，個人会員 20 名，団体会員 8 社】対面で第 5 回討論会及び熱分析チュートリアルを 7 月 1 日に開催(参加者 34 名，発表 16 件)，運営委員会をオンラインで 4 回開催（3 月 29 日，4 月 27 日．6 月 9 日，6 月 28 日）開催し，討論会の開催及び今後の活動について，議論を重ねた。

⑯溶液反応化学研究懇談会

【委員長：梅林泰宏（新潟大学)，運営委員会委員 18 名，会員数 18 名（個人会員 18 名，賛助会員 0 名】第 71 年会で，講演会および運営委員会を開催した。

⑰電気分析化学研究懇談会

【委員長：前田耕治（京都工芸繊維大学)，運営委員会委員 29 名，顧問 3 名】茨城大学で開催された討論主題「地方より世界に発信する電気分析化学」を立てて依頼講演 8 人を含むシンポジウムを実施した。また，岡山大学で開催された第 71 年会では，中山雅晴氏「ナノ閉じ込め空間の電気化学形成とその分析化学的応用」とトラックエッチ膜フィルター電極を搭載したフロー電解セルと水口仁志氏「電気化学分析への応用」の 2 件の依頼講演を行い，活発な質疑が行われた。また，現地で運営委員会を開催し，若手を中心に新規運営委員の候補者数名があげられた。翌年の第 83 回討論会に懇談会として食と農に関する討論主題が提案された。

⑱ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会

【委員長：渡慶次学（北海道大学)，副委員長：火原彰秀（東北大学)，会員数：約 30 名（個人会員のみ)】第 71 年会（岡山大学）にて，9 月 16 日に研究懇談会講演会を開催した。Pittcon2023（Philadelphia）にて，3 月 21 日に PAI-NET Contributed Session「Advanced tools for medical diagnostics and pharmaceutical analysis」に協力した。「分析化学」誌の特集号「ナノ・マイクロ分析化学の新展開」を企画し，投稿募集を行った。2023 年 3 月号として刊行した。

⑲バイオ分析化学研究懇談会

【委員長：佐藤守俊（東京大学)，運営委員会委員 11 名，顧問 2 名，会員数 14 名（個人会員 14 名，賛助会員 0 名】2022 年 8 月 9 日，第 10 回 Chem-Bio Joint Seminar 2022 を東京大学駒場 I キャンパスにて（ハイブリッド）開催し，60 名以上が参加した。さらに，第 71 年会における研究懇談会講演会では，2 名の先生をお招きし招待講演を行った。また，同学会中（9 月 15 日）に運営委員会を開催し，今後の活動などを話し合った。

⑳スクリーニング分析研究懇談会

【委員長：津越敬寿（産業技術総合研究所)，運営委員会委員 6 名，会員数 17 名（個人会員 13 名，団体会員 4 口)】年 2 回の講演会（第 5 回講演会を 9 月 13 日の第 71 年会において，第 6 回講演会を 1 月 27 日に日本電子・東京事務所において）を開催した他，分析イノベーション交流会(1 月 17 日･18 日）で懇談会紹介の展示を行った。また，第 6 回講演会に先立ち運営委員会を開催し，来期の運営方針や活動内容について意見交換を行った。

［支　部］

支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

①役員の選任

支部長	渡慶次　学		
副支部長	坂入　正敏	(木村)須田廣美	
参　与	伊藤八十男	片山　則昭	喜多村　昇
齋藤　健	神　和夫	高橋　一樹	高橋　英明
長谷部　清	藤吉　亮子	森田みゆき	横沢　龍朗
監　事	伊藤　慎二	蠣崎　悌司	
庶務幹事	菅　正彦	谷　博文	
会計幹事	真栄城正寿	三浦　篤志	
幹　事	青柳　直樹	池田　敦子	石田　晃彦
今枝　佳祐	上野　貢生	宇都　正幸	大木　淳之
大津　直史	岡　征子	奥田　弥生	川口　俊一
工藤　英博	黒澤　隆夫	齋藤　徹	堺井　亮介
佐々木隆浩	佐藤　久	真田　哲也	高瀬　舞
高橋　徹	田中　俊逸	田原るり子	千葉　真弘
徳光　藍	富田　恵一	中田　耕	中谷　暢丈
西村　一彦	沼田ゆかり	古崎　睦	松井　宏之
南　尚嗣	三原　義広	村井　毅	諸角　達也
山田　幸司	吉田　将己	吉村　昭毅	若杉　郷臣

②研究発表会

1) 夏季研究発表会（共催)：(オンライン)：7 月 23 日，一般講演 81 件，特別講演 2 件（参加者 185 名)。

2) 化学教育研究協議会（共催）(ハイブリッド)：11 月 5 日，北海道科学大学サテライトキャンパス(札幌市)開催,特別講演 1 件，分析化学若手教育研究者による話題提供，自由討論を行った（参加者 46 名)。

3) 冬季研究発表会（共催)：(ハイブリッド)：1 月 24 日･25 日。北海道大学学術交流会館(札幌市)開催,研究発表 137 件（口頭 94 ポスター43)，特別講演 1 件（参加者 313 名)。

③セミナー

1) 第 38 回分析化学緑陰セミナー（ハイブリッド)：7 月 9 日・10 日，定山渓ビューホテル(札幌市)開催，招待講演 3 件，学生による口頭発表 11 件，分析化学若手教育研究者による話題提供，自由討論を行った（参加者 34 名，オンライン 12 名含む)。

2) 2022 年公開セミナー（ハイブリッド)：11 月 29 日，北見工業大学(北見市)開催，講演 2 件を行った(参加者 73 名)。講演 2 件を行った（参加者 90 名)。

3) 第 58 回氷雪セミナー（ハイブリッド)：1 月 7-8 日，定山渓万世閣ホテルミリオーネ（札幌市)，講演 3 件（参加者 20 名)。

④交流事業

若手の会交流会：「九州支部若手の会」から（オンライン）講演者を招聘。

⑤支部ニュースの発行

北海道支部ニュース第 65 号，第 66 号を発行した。

【東北支部】

①役員の選任

支部長	西澤　精一		
副支部長	大江　知行	高貝　慶隆	
参　与	秋葉　健一	宇野原信行	大関　邦夫
大類　洋	尾形　健明	荻野　博	長　哲郎
小田嶋次勝	後藤　順一	斎藤　紘一	佐藤　允美
南原　利夫	糠塚いそし	星野　仁	山崎　慎一
四ツ柳隆夫			
監　事	壹岐　伸彦	藤村　務	
庶務幹事	熊谷　将吾		
会計幹事	福山　真央		
幹　事	赤坂　和昭	石川大太郎	伊藤　徹二
伊野　浩介	井上　賢一	岩田　吉弘	遠藤　昌敏
大橋　弘範	小川　信明	押手　茂克	尾高　雅文

上條　利夫　唐島田龍之介　菊地　洋一　菊池美保子
北川　文彦　斎藤昇太郎　佐藤　勝彦　佐藤　健二
佐藤　雄介　猿渡　英之　珠玖　　仁　志村　清仁
田副　博文　多田　美香　寺前　紀夫　照井　教文
仲川　清隆　中川　公一　西澤　松彦　沼田　　靖
野原　幸男　橋本　隆光　橋本　幹雄　火原　彰秀
平野　愛弓　平山　和雄　末永　智一　松村　洋寿
眞野　成康　盛田　伸一　和久井喜人　渡辺　　壱
渡辺　健一　渡辺　忠一

②研究発表会

2022 年度化学系学協会東北大会（共催）（主催：日本化学会東北支部）：9 月 17 日・18 日に開催され（会場：岩手大学理工学部），分析化学・環境化学セッションでは，招待講演 1 件，依頼講演 3 件が行われた。

③講演会・セミナー

1）第 39 回無機・分析化学コロキウム（共催）：5 月 28 日にハイブリッド形式で開催され（会場：東北大学大学院理学研究科），5 件の招待講演及び 5 件の依頼講演が行われた（参加者 97 名）。

2）みちのく分析科学シンポジウム・分離機能とセンシング機能の化学セミナー2022：7 月 23 日に合同開催し（会場：東北大学大学院理学研究科），特別講演 2 件，若手ポスター発表 21 件が行われた（参加者 47 名）。また，優秀なポスター発表 3 件に対して，フロンティア・ラボ賞を授与した。

3）2022 年度 東北支部分析化学若手交流会：中止。

4）東北支部特別講演会（共催：東北大多元研火原研究室）：12 月 7 日，馬場嘉信教授（名大院工・量研）による特別講演会を開催した（会場：東北大学大学院理学研究科）。

5）東北支部各賞受賞講演会：12 月 17 日，東北分析化学賞および東北分析化学奨励賞の授賞式と受賞講演会を開催した（会場：東北大学大学院理学研究科）。東北分析化学賞：伊野浩介氏（東北大）。東北分析化学奨励賞：唐島田龍之介氏（東北大），伊藤健太郎氏（東北大），松枝誠氏（福島大）。

④助成

令和 4 年度東北支部助成金：「高糖度トマトの低ストレス栽培による果実成分の定量分析」（代表：大橋弘範氏（福島大）），「液体クロマトグラフィー/タンデム質量分析法による抗精神病薬血中濃度同時分析法の構築とファーコメトリクス法を用いた統合失調症の個別化薬物療法の開発」（代表：前川正充氏（東北大））を採択した。また，研究紹介講演会を 12 月 17 日に開催した（会場：東北大学大学院理学研究科）。

【関東支部】

①役員の選任

支 部 長　津越　敬寿
次期支部長　安田　純子
副支部長　四宮　一総　野呂　純二　平山　直紀
参　　与　梅澤　喜夫　大橋弘三郎　岡田　哲男
小熊　幸一　金澤　秀子　楠　　文代　合志　陽一
澤田　　清　渋川　雅美　菅原　正雄　杉谷　嘉則
高田　芳矩　高村喜代子　田中　龍彦　角田　欣一
中込　和哉　中村　　洋　二瓶　好正　丹羽　　修
早下　隆士　平井　昭司　藤浪　眞紀　保母　敏行
前田　瑞夫　宮村　一夫　望月　直樹　矢野　良子
山崎　素直　山根　　兵　山本　博之
監　　事　会田　秀樹　鈴木　康志
常任幹事　青木　　寛　石川　隆一　稲川　有徳
植田　郁生　上野　祐子　梅林　泰宏　大塚　克弘
岡村　浩之　国村　伸祐　坂元　秀之　敷野　　修
島田亜佐子　東海林　敦　菅沼　こと　菅原　一晴
鈴木彌生子　高橋あかね　高橋由紀子　高橋　　豊
谷合　哲行　豊田　太郎　並木　健二　丹羽　宏之
林　　英男　蛭田　勇樹　古庄　義明　本田　俊哉
宮下　　隆　望田　啓子　山口　　央　吉田　達成
支部幹事　伊藤　彰英　勝又　啓一　加藤　　健
亀田　直弘　土戸　優志　中村　圭介　半田友衣子
福原　　学　南　　豪　南木　　創　森岡　和大
森田耕太郎

②講習会・セミナー

1）第 41 回分析化学基礎セミナーー現場技術者の分析技術の基礎習得へ向けてーを 11 月 30 日・12 月 1 日にオンライン形式で開催した（講演者 11 名，受講者 16 名）。

2）第 12 回分析化学の基本と安全セミナーを 2 月 27 日にオンライン形式で開催した（講演者 7 名，受講者 16 名）。

③講演会

1）ものつくり技術交流会 2022～分析に役立つ基礎技術～：第 82 回分析化学討論会の関連行事として 5 月 13 日に開催(参加者 80 名)，また，第 71 年会の関連行事として 9 月 16 日に開催した（参加者 100 名）。それぞれ分析イノベーション交流会が主催，各討論会・年会実行委員会が共催となり，ハイブリッド形式（対面形式：展示交流会，対面・同時オンライン形式：講演会）にて行った。

2）新潟地区部会第 35 回研究発表会：関東支部・同新潟地区部会の主催により 11 月 18 日に開催し，参加者は対面 48 名，オンライン 4 名であった。支部長特別講演，一般講演 5 件，ポスター発表 21 件，さらにポスター優秀賞および奨励賞の授賞式が行われた。

3）令和 4 年度関東支部若手交流会：関東支部若手の会主催，支部共催により 11 月 12 日に日本大学生産工学部（津田沼キャンパス）にて行った（参加者 43 名）。支部長特別講演，依頼講演 3 件の他，ポスター発表 21 件が行われた。さらに，ポスター優秀発表の授賞式が行われた。

4）第 3 回群馬・栃木分析技術交流会：日本分析化学会関東支部と宇都宮大学計測化学研究室の主催によりハイブリッド形式で 12 月 2 日に開催された。3 件の講演が行われ，対面，オンラインでの参加者数は，それぞれ 26 名，6 名であった。

5）新世紀賞授賞式および講演会：1 月 13 日に JEOL 大手町会議室とオンラインのハイブリッド形式で開催した（参加者数現地参加 21 名・オンライン不明）。新世紀賞受賞者は，吉川ひとみ君（科学警察研究所）および中川沙織君（新潟薬科大学），新世紀新人賞受賞者は，南木　創君（産業技術総合研究所）および宮川晃尚君（筑波大学）である。

6）令和 4 年度分析イノベーション交流会：分析イノベーション交流会の主催により 1 月 17 日・18 日に対面形式（講演会はハイブリッド形式）にて開催した（参加者数 140 名）。討論主題として「カーボンニュートラル」，「前処理」を設定し，展示交流会ならびに講演会が行われた。

④助成

1）分析イノベーションフォーラム助成：「その場診断に役立つ分析化学"Diagnostic Chemistry"フォーラム」代表者：渡辺日香里君（東京理科大学）（2021 年 10 月から 2023 年 2 月）を採択した。

【中部支部】

①役員の選任

支 部 長　長谷川　浩
次期支部長　江坂　幸宏
副支部長　倉光　英樹　巽　　広輔
顧　　問　板谷　芳京　上田　一正　上田　穣一
太田　清久　北川　邦行　酒井　忠雄　佐々木与志実
田口　　茂　柘植　　新　津田　孝雄　寺田喜久雄
永長　幸雄　中村　俊夫　野村　俊明　早川　和一
原　　稔　樋上　照男　平出　正孝　舟橋　重信
本浄　高治　三輪　智夫　村田　　旭　山田　真吉
山寺　秀雄　湯地　昭夫
参　　与　一ノ木　進　井村　久則　宇野　文二
大谷　　肇　小谷　　明　小泉　貞之　竹内　豊英
田中　智一　遠田　浩司　中田　隆二　波多　宣子
服部　敏明　馬場　嘉信　藤本　忠蔵
監　　事　金子　　聡　栗原　　誠
庶務幹事　眞塩麻彩実　山本　拓平
会計幹事　村上　貴哉　水野　　初
常任幹事　石田　康行　小川　数馬　加藤　　亮
佐澤　和人　柴田　信行　高田　主岳　高橋　　透
高橋　史樹　立石　一希　轟木堅一郎　湯川　　博
リムリーワ
幹　　事　飯國　良規　伊藤　雅章　植松　宏平
黄　　国宏　内村　智博　太田　　鑑　太田　一徳
奥山　修司　甲斐　穂高　香川　信之　勝又　英之
菅野　　憲　儀賀　義勝　北川　　均　北出　和久

木全　良典　金　継業　妹尾　健吾　袋布　昌幹
西山　嘉男　丹羽　敏之　丹羽　啓誌　淵上　剛志
古川　真衣　松宮　弘明　御子柴正明　山下　智富
吉田　一之　吉田　佳宏　藁科　知之

②講演会
1）北陸地区講演会（富山地区）：7 月 8 日，オンラインで開催，講演 3 件を行った（参加者 70 名）。
2）岐阜地区講演会：2 月 8 日，岐阜大学工学部 101 教室オンライン同時中継で開催,講演 2 件を行った(参加者 106 名)。
3）愛知地区講演会：12 月 9 日，名古屋工業大学 4 号館ホールで開催，講演 3 件を行った（参加者 31 名）。

③講習会
1）第 32 回基礎及び最新の分析化学講習会：12 月 8 日・9 日，名古屋工業大学 4 号館ホールで開催，講義 5 件と見学会を行った（参加者 30 名）。

④セミナー
1）「第 39 回分析化学中部夏期セミナー」：8 月 26 日・27 日，石川県青少年総合研修センターで開催，招待講演 1 件，中部分析化学奨励賞受賞講演 2 件，若手依頼講演 2 件，ポスドク・プレドク依頼講演 4 件，ポスター発表 34 件，企業新製品紹介講演 2 件を行った（参加者 73 名）。
2）「分析中部・ゆめ 21」若手交流会・第 22 回高山フォーラム：11 月 12 日，オンラインで開催，招待講演 2 件，ポスター発表 62 件を行った（参加者 99 名）。

【近畿支部】

①役員の選任
支 部 長　村松　康司
次期支部長　山本　雅博
副支部長　森田　成昭　岩月　聡史
庶務幹事　北隅　優希　森澤　勇介
会計幹事　糟野　潤　奥田　浩子
参　与　荒川　隆一　池田　重良　池田　篤治
池田　昌彦　大堺　利行　尾崎　幸洋　垣内　隆
加納　健司　木原　壯林　木村　恵一　木村　優
紀本　岳志　小島　次雄　佐伯　正夫　澁谷　康彦
田中　稔　谷口　一雄　千熊　正彦　寺部　茂
中川　照眞　中原　武利　萩中　淳　藤田　芳一
藤原　英明　増田　嘉孝　松下　隆之　八尾　俊男
横井　邦彦　渡辺　巌　渡會　仁
常任幹事　石濱　泰　久保　拓也　桑本　恵子
駒谷慎太郎　鈴木　雅登　諏訪　雅頼　高野祥太朗
高原　晃里　壷井　基裕　鳥羽真由子　中田　靖
西　直哉　長谷川　健　堀田　弘樹　山口　英一
山本佐知雄　吉田　朋子　吉田　裕美
幹　事　青山　佳弘　浅川　大地　飯田　琢也
石切山一彦　磯尾賢太郎　伊藤　滋之　岩本　仁志
上田　啓太　宇田　亮子　遠藤　達郎　大城　敬人
大塚　浩二　岡本　行広　小堤　和彦　小山　宗孝
門　晋平　金尾　英佑　河合　潤　川上奈津子
川﨑　英也　河原　直樹　川元　達彦　北山　紗織
木村　敦臣　久保埜公二　倉内　奈美　小池　亮
小林　典裕　小林　宏資　坂本　英文　佐々木隆之
作花　哲夫　椎木　弘　下赤　卓史　下条晃司郎
下山　昌彦　許　岩　白井　理　末吉　健志
杉原　崇康　杉山　雅人　鈴江　崇彦　鈴木　哲仁
砂山　博文　瀬戸　康雄　宗林　由樹　宋和　慶盛
高木　達也　高橋　弘樹　武上　茂彦　竹田さほり
田中　章夫　谷田　肇　千葉　光一　茶山　健二
塚越　一彦　塚原　聡　塚本　効司　辻　幸一
角井　伸次　坪井　泰之　天滿　敬　土井　光暢
床波　志保　豊田　岐聡　永井　秀典　中口　譲
中澤　隆　中島　陽一　中原　佳夫　並川　敬
中山　茂吉　西尾　友志　西埜　誠　野田　達夫
萩森　政頼　橋田紳乃介　張野　宏也　東　昇
久本　秀明　藤居　義和　藤嶽　暢英　藤森　啓一
藤原　学　布施　泰朗　細矢　憲　堀山志朱代
本間　秀和　前田　耕治　牧　秀志　牧　輝弥
松本　明弘　丸尾　雅啓　三木功次郎　三戸彩絵子
宮﨑　哲男　宮道　隆　向井　浩　村上　正裕
森内　隆代　八木　正浩　矢嶋　摂子　安井　裕之
安川　智之　山垣　亮　山口　敬子　山根　常幸
山本　茂樹　脇田　慎一　渡邊　誠也

②講演会
1）第 17 回近畿分析技術研究奨励賞表彰式・受賞講演会：3 月 11 日，オンラインで開催，表彰・受賞講演 1 件を行った。
2）第 1 回支部講演会：4 月 8 日，対面とオンラインのハイブリッド開催，講演 2 件を行った。
3）第 2 回支部講演会：7 月 15 日，対面とオンラインのハイブリッド開催，講演 2 件を行った。
4）第 3 回支部講演会:12 月 2 日，対面とオンラインのハイブリッド開催，講演 2 件を行った。

③講習会
1）ぶんせき講習会・基礎編その 1：5 月 13 日，オンライン開催，講義・講習 4 件を行った（受講者 56 名）。
2）ぶんせき講習会・実践編：7 月 8 日，日立ハイテクサイエンスで開催，講義と実習を行った（受講者 10 名）。
3）ぶんせき講習会・発展編：12 月 3 日，大阪電気通信大学で開催，講義と実習を行った。
4）予定されていたぶんせき講習会・基礎編その 2 はコロナ禍の影響で中止となった。

④セミナー
1）第 1 回提案公募型セミナー：12 月 8 日にオンライン開催。
2）第 16 回近畿支部若手夏季セミナー「ぶんせき秘帖」：，8 月 4 日から 5 日にかけて島津製作所およびホテル京都エミナースで開催(参加者 68 名)。

⑤支部ニュース
ぶんきんニュース第 52 号及び第 53 号を発行。

【中国四国支部】

①役員の選任
支 部 長　中山　雅晴
次期支部長　朝日　剛
副支部長　名郷　洋信
支部参与　池田　早苗　伊藤　一明　今井　嘉彦
岩知道　正　奥村　稔　木下　光夫　熊丸　尚宏
善木　道雄　田頭　昭二　竹味　弘勝　中野　惠文
林　康久　平田　静子　廣川　健　藤原　照文
北條　正司　真鍋　敬　宮田　晴夫　本仲　純子
本水　昌二　森田　秀芳　山崎　恒博
支部監事　早川慎二郎　若林　茂夫
庶務幹事　浅野　比　管原　庄吾　武安　伸幸
長門 Edward 豪　水口　仁志
会計幹事　浅岡　聡
常任幹事　一色　健司　石坂　昌司　池内　研二
泉　雅典　今井　昭二　上田　忠治　上田　真史
金田　隆　紙谷　浩之　北出　哲朗　北山　宏三
小園　修治　座古　保　髙柳　俊夫　竹田　一彦
田所　大典　田中　秀治　谷崎　達也　谷本　典之
西　博行　原　哲也　藤原　薫　村上　良子
森本　稔　薮谷　智規　横山　崇　吉田　和広
吉村　友宏　和田　修治
支部幹事　安達　健太　井上　裕文　片岡　洋行
苅部　甚一　川村　邦男　小﨑　大輔　小松原恒生
島崎　洋次　竹内　政樹　竹永　史典　谷村　俊史
寺川　敦哉　永阪　文惣　西本　潤　西脇　芳典
樋口　浩一　藤井　健太　藤原　勇　渕脇　雄介
松原　弘樹　森　勝伸　門木　秀幸　山下　浩
山本　剛　山本　孝　吉岡　徹　和田　光弘

②研究発表会
1）2022 年日本化学会中国四国支部大会：11 月 12 日・13 日，広島大学東広島キャンパス（共催）。

③講演会
1）中国四国支部分析化学講演会：2022 年度は開催せず。
2）岡山地区講演会（岡山地区分析技術懇談会と共催）：2022 年度は開催せず。
3）広島地区講演会（広島地区分析技術研究会と共催）：2022 年度は開催せず。
4）山口地区講演会：12 月 6 日，山口大学，一般・ポスター（参加者 73 名）。

宇部・山陽小野田地区講演会（宇部地区分析技術研究会と共催）：2022 年度は開催せず。
5）愛媛地区講演会（愛媛県産業技術研究所，愛媛大学紙産業イノベーションセンターと共催）：2022 年度は開催せず。
6）徳島地区講演会（徳島化学工学懇話会と共催）：2022 年度は開催せず。
7）鳥取地区講演会（鳥取総合分析研究懇談会と共催）：2022 年度は開催せず。
8）島根地区講演会（島根環境分析化学・陸水化学懇話会と共催）：2022 年度は開催せず。
9）高知地区講演会（高知地区分析技術懇談会と共催）：2022 年度は開催せず。
10）外国人学者講演会： 2022 年度は開催せず。

④セミナー
1）第 28 回中国四国支部分析化学若手セミナー：6 月 25 日，島根大学・オンライン開催（参加者 54 名）。

【九州支部】

①役員の選任

支 部 長	冨安　卓滋		
次期支部長	井上　高教		
副支部長	大平　慎一	赤瀬信一郎	
参　　与	石黒　慎一	今坂藤太郎	今任　稔彦
岩崎　正武	大森　　保	鎌田　薩男	喜納　兼勇
黒木　広明	合屋周次郎	財津　　潔	下田　満哉
城　　昭典	高舘　　明	谷口　　功	田端　正明
出口　俊雄	中島憲一郎	中村　　博	増田　義人
松本　　清	山口　政俊	山田　　淳	脇田　久伸
監　　査	井原　敏博	高橋　政孝	
庶務幹事	神崎　　亮		
会計幹事	児玉谷　仁		
常任幹事	新垣　雄光	石川　洋哉	稲田　　幹
大島　達也	川上　健次	栗崎　　敏	黒田　直敬
高橋　幸奈	竹中　繁織	戸田　　敬	浜瀬　健司
松田　直樹	松森　信明		
幹　　事	安藤　　功	井倉　則之	池上　　天
石岡　寿雄	石田　雄士	内原　　博	宇都宮　聡
梅木　辰也	王子田彰夫	大渡　啓介	大庭　義史
尾本　憲昭	恩田　　健	加地　範匡	片山　佳樹
加藤　祐子	椛島　　力	椛島　正美	上畑桂太郎
河済　博文	川畑　　明	岸川　直哉	北村　裕介
木下　将和	栗原　　龍	呉　　行正	財津　慎一
笹木　圭子	佐藤しのぶ	佐藤　　博	佐藤　正雄
佐野　洋一	澤津橋徹哉	塩路　幸生	清水　陽一
白土　英樹	末田　慎二	宗　　伸明	髙橋　　章
高橋　浩司	高椋　利幸	竹原　　公	田中　　明
田中　　充	天日　美薫	冨永　昌人	中島　常憲
中園　　学	中武　貞文	中野　幸二	中村　沙織
新留　康郎	西田　正志	能田　　均	能登　征美
野間　誠司	馬場　由成	巴山　　忠	原口　浩一
原田　　明	原田　雅章	肥後　盛秀	藤井　清永
前田　明広	増田　寿伸	真瀬田幹生	又吉　直子
松井　利郎	松野　康二	松本　篤彦	水城　圭司
光井　康浩	満尾　良弘	満塩　　勝	三宅　孝彰
村田　正治	森　　健	安田みどり	藪下　彰啓
山口　敏男	山下　将一	横山さゆり	横山　拓史
吉田　亨次	吉田　秀幸	吉田　祐一	吉留　俊史
吉村　和久			

②研究発表会
1）第 59 回化学関連支部合同九州大会（共催）：7 月 2 日，北九州国際会議場で開催。優秀ポスター発表 4 件を「九州分析化学ポスター賞」として選出。

③講演会・セミナー
1）第 35 回若手研究講演会および第 40 回夏季セミナー（主催）：7 月 29 日～30 日，オンライン形式で開催（参加登録者：29 団体 176 名）。
2）機器分析ワークショップ（主催）：10 月 24 日，鹿児島大学で開催（参加登録者 10 名）。
3）第 44 回溶液化学シンポジウム（共催）：10 月 27 日～29 日，鹿児島大学で開催（参加登録者 115 名）。
4）九州支部講演会・見学会（主催）：11 月 9 日，九州支部講演会を鹿児島大学で開催。見学会は，新型コロナウイルス感染症の影響により，開催中止。

④講習会
1）第 61 回分析化学講習会（主催）：8 月開催予定，新型コロナウイルス感染症の影響により，開催中止。
2）HPLC 講習会 2022（主催）：8 月 9 日，九州大学馬出キャンパスで開催（参加者数：20 名）。

⑤支部ニュース
支部ニュース第 46 号（8 月）及び第 47 号（3 月・予定）を発行。

令 和 4 年 度 会 計 報 告

貸 借 対 照 表

（令和５年２月28日現在）

（単位：円）

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	122,945,646	141,000,854	△ 18,055,208
売掛金	1,973,620	1,011,120	962,500
未収会費	0	1,438,880	△ 1,438,880
未収金	3,155,075	3,471,930	△ 316,855
棚卸資産	30,085,215	30,920,125	△ 834,910
貯蔵品	89,071	108,287	△ 19,216
一年以内回収予定長期貸付金	199,920	199,920	0
前払金	3,211,047	1,542,236	1,668,811
仮払金	384,367	396,080	△ 11,713
流動資産合計	162,043,961	180,089,432	△ 18,045,471
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	20,767,023	16,410,221	4,356,802
標準物質開発基金	2,060,453	17,079,563	△ 15,019,110
分析技術教育基金	0	0	0
国際交流事業基金	30,300,301	30,300,000	301
分析化学研究奨励基金	20,100,166	8,380,845	11,719,321
預り保証金引当預金	5,000,000	6,000,000	△ 1,000,000
支部研究懇談会特定預金	46,209,445	19,311,994	26,897,451
特定資産合計	124,437,388	97,482,623	26,954,765
(3)その他固定資産			
建物	8,544,141	8,946,745	△ 402,604
器具備品	28,334	56,660	△ 28,326
土地	30,607,799	30,607,799	0
ソフトウエア	381,330	622,170	△ 240,840
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	928,200	1,128,120	△ 199,920
その他固定資産合計	40,617,804	41,489,494	△ 871,690
固定資産合計	175,055,192	148,972,117	26,083,075
資産合計	337,099,153	329,061,549	8,037,604

貸　借　対　照　表

（令和５年２月28日現在）

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
未払金	3,677,724	4,207,075	△ 529,351
前受会費	25,738,750	25,980,800	△ 242,050
前受購読料	1,906,500	1,915,800	△ 9,300
前受金	879,000	925,000	△ 46,000
預り金	593,594	615,973	△ 22,379
仮受金	84,650	46,400	38,250
賞与引当金	2,029,997	1,997,963	32,034
未払消費税等	2,344,300	1,517,600	826,700
流動負債合計	37,254,515	37,206,611	47,904
2．固定負債			
退職給付引当金	47,019,671	44,800,133	2,219,538
預り保証金	5,000,000	6,000,000	△ 1,000,000
固定負債合計	52,019,671	50,800,133	1,219,538
負債合計	89,274,186	88,006,744	1,267,442
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産			
補助金	853,299	2,888,504	△ 2,035,205
指定正味財産合計	853,299	2,888,504	△ 2,035,205
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	0	0	0
2．一般正味財産	246,971,668	238,166,301	8,805,367
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	0	0	0
正味財産合計	247,824,967	241,054,805	6,770,162
負債及び正味財産合計	337,099,153	329,061,549	8,037,604

正 味 財 産 増 減 計 算 書

（令和４年３月１日～令和５年２月28日）

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	100	2,201	△ 2,101
基本財産運用益	100	2,201	△ 2,101
特定資産運用益	891	4,773	△ 3,882
退職給付引当資産運用益	163	116	47
標準物質開発基金運用益	45	3,392	△ 3,347
分析技術教育基金運用益	0	29	△ 29
国際交流事業基金運用益	301	185	116
分析化学研究奨励基金運用益	166	752	△ 586
預り保証金引当預金運用益	0	91	△ 91
支部研究懇談会特定預金運用益	216	208	8
受取入会金	168,000	114,000	54,000
受取会費	70,150,111	75,684,536	△ 5,534,425
正会員会費	24,865,000	28,267,500	△ 3,402,500
学生会員会費	1,782,000	1,803,500	△ 21,500
維持会員会費	14,523,600	15,082,200	△ 558,600
特別会員会費	14,550,000	15,510,000	△ 960,000
公益会員会費	7,848,000	6,969,600	878,400
支部研究懇談会会費	6,581,511	8,051,736	△ 1,470,225
事業収益	90,390,132	76,419,223	13,970,909
購読料収入	3,718,961	4,753,790	△ 1,034,829
年会収入	15,067,465	6,923,650	8,143,815
討論会収入	13,050,600	6,452,050	6,598,550
講演会収入	3,786,800	2,013,500	1,773,300
講習会収入	5,637,885	5,173,428	464,457
研究懇談会収入	406,000	364,700	41,300
技能試験収入	4,922,500	4,823,500	99,000
分析士事業収入	1,721,780	1,467,100	254,680
印税収入	505,868	1,865,854	△ 1,359,986
教育ビデオ・DVD 頒布収入	174,350	469,700	△ 295,350
標準物質頒布収入	18,891,290	13,714,280	5,177,010
広告料収入	15,778,285	16,929,510	△ 1,151,225
別刷頒布掲載料等収入	5,965,188	10,865,289	△ 4,900,101
複写権使用料収入	763,160	602,872	160,288
受取補助金等	5,730,395	14,207,413	△ 8,477,018
受取国庫補助金	2,035,205	13,706,056	△ 11,670,851
受取民間補助金	3,695,190	501,357	3,193,833
受取自治体補助金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
雑収益	317,817	423,746	△ 105,929
受取利息	32,245	37,239	△ 4,994
雑収益	285,572	386,507	△ 100,935
経常収益計	166,757,446	166,855,892	△ 98,446
(2)経常費用			
事業費	126,024,121	117,778,979	8,245,142
給料手当	18,152,895	19,084,251	△ 931,356
臨時雇賃金	9,698,675	8,394,951	1,303,724
退職給付費用	1,389,429	1,337,825	51,604
法定福利費	3,307,125	3,301,502	5,623
会議費	7,486,578	1,915,097	5,571,481
旅費交通費	5,117,520	1,352,766	3,764,754
通信運搬費	1,631,567	2,602,537	△ 970,970
減価償却費	647,613	693,771	△ 46,158
修繕費	1,116,720	1,045,440	71,280

正 味 財 産 増 減 計 算 書

（令和４年３月１日～令和５年２月28日）

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
消耗品費	1,097,669	571,221	526,448
印刷製本費	16,205,966	28,827,891	△ 12,621,925
光熱水料費	239,389	189,980	49,409
賃借料	9,529,083	953,605	8,575,478
支払リース料	3,377	0	3,377
保険料	3,870	0	3,870
諸謝金	4,331,938	6,086,878	△ 1,754,940
租税公課	3,875,800	3,056,500	819,300
支払負担金	345,473	438,928	△ 93,455
支払助成金	700,000	107,000	593,000
委託費	38,544,211	36,442,389	2,101,822
表彰費	2,307,420	1,124,164	1,183,256
雑費	291,803	252,283	39,520
管理費	31,927,958	33,386,227	△ 1,458,269
給料手当	13,187,037	12,153,124	1,033,913
臨時雇賃金	1,096,370	1,096,080	290
退職給付費用	830,109	799,276	30,833
法定福利費	2,455,138	2,511,827	△ 56,689
福利厚生費	0	262,000	△ 262,000
会議費	29,600	777	28,823
旅費交通費	308,633	241,760	66,873
通信運搬費	672,293	995,905	△ 323,612
減価償却費	24,156	25,294	△ 1,138
修繕費	279,180	261,360	17,820
消耗品費	447,393	715,106	△ 267,713
印刷製本費	0	100,760	△ 100,760
光熱水料費	68,295	55,943	12,352
賃借料	489,665	402,138	87,527
支払リース料	4,103,440	3,888,940	214,500
租税公課	3,800	7,350	△ 3,550
支払負担金	1,096,488	1,365,548	△ 269,060
支払助成金	0	0	0
委託費	6,694,170	8,443,136	△ 1,748,966
雑費	142,191	59,903	82,288
経常費用計	157,952,079	151,165,206	6,786,873
評価損益等調整前当期経常増減額	8,805,367	15,690,686	△ 6,885,319
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	8,805,367	15,690,686	△ 6,885,319
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	8,805,367	15,690,686	△ 6,885,319
一般正味財産期首残高	238,166,301	222,475,615	15,690,686
一般正味財産期末残高	246,971,668	238,166,301	8,805,367
Ⅱ　指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
受取補助金	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 2,035,205	△ 13,706,056	11,670,851
当期指定正味財産増減額	△ 2,035,205	△ 13,706,056	11,670,851
指定正味財産期首残高	2,888,504	16,594,560	△ 13,706,056
指定正味財産期末残高	853,299	2,888,504	△ 2,035,205
Ⅲ　正味財産期末残高	247,824,967	241,054,805	6,770,162

正味財産増減計算書内訳表

（令和４年３月１日～令和５年２月28日）

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合　　計
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	0	100	0	100
基本財産運用益	0	100	0	100
特定資産運用益	683	208	0	891
退職給付引当資産運用益	0	163	0	163
標準物質開発基金運用益	0	45	0	45
分析技術教育基金運用益	0	0	0	0
国際交流事業基金運用益	301	0	0	301
分析化学研究奨励基金運用益	166	0	0	166
預り保証金引当預金運用益	0	0	0	0
支部研究懇談会特定預金運用益	216	0	0	216
受取入会金	0	168,000	0	168,000
受取会費	38,365,811	31,784,300	0	70,150,111
正会員会費	12,432,500	12,432,500	0	24,865,000
学生会員会費	891,000	891,000	0	1,782,000
維持会員会費	7,261,800	7,261,800	0	14,523,600
特別会員会費	7,275,000	7,275,000	0	14,550,000
公益会員会費	3,924,000	3,924,000	0	7,848,000
支部研究懇談会会費	6,581,511	0	0	6,581,511
事業収益	72,312,107	18,078,025	0	90,390,132
購読料収入	2,975,169	743,792	0	3,718,961
年会収入	12,053,972	3,013,493	0	15,067,465
討論会収入	10,440,480	2,610,120	0	13,050,600
講演会収入	3,029,440	757,360	0	3,786,800
講習会収入	4,510,308	1,127,577	0	5,637,885
研究懇談会収入	324,800	81,200	0	406,000
技能試験収入	3,938,000	984,500	0	4,922,500
分析士事業収入	1,377,424	344,356	0	1,721,780
印税収入	404,695	101,173	0	505,868
教育ビデオ・DVD 頒布収入	139,480	34,870	0	174,350
標準物質頒布収入	15,113,032	3,778,258	0	18,891,290
広告料収入	12,622,628	3,155,657	0	15,778,285
別刷頒布掲載料等収入	4,772,151	1,193,037	0	5,965,188
複写権使用料収入	610,528	152,632	0	763,160
受取補助金等	5,730,395	0	0	5,730,395
受取国庫補助金	2,035,205	0	0	2,035,205
受取民間補助金	3,695,190	0	0	3,695,190
受取自治体補助金	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0
雑収益	286,549	31,268	0	317,817
受取利息	977	31,268	0	32,245
雑収益	285,572	0	0	285,572
経常収益計	116,695,545	50,061,901	0	166,757,446
(2)経常費用				
事業費	126,024,121	0	0	126,024,121
給料手当	18,152,895	0	0	18,152,895
臨時雇賃金	9,698,675	0	0	9,698,675
退職給付費用	1,389,429	0	0	1,389,429
法定福利費	3,307,125	0	0	3,307,125
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	7,486,578	0	0	7,486,578
旅費交通費	5,117,520	0	0	5,117,520
通信運搬費	1,631,567	0	0	1,631,567
減価償却費	647,613	0	0	647,613
修繕費	1,116,720	0	0	1,116,720

正味財産増減計算書内訳表

（令和４年３月１日～令和５年２月28日）

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合　　計
消耗品費	1,097,669	0	0	1,097,669
印刷製本費	16,205,966	0	0	16,205,966
光熱水料費	239,389	0	0	239,389
賃借料	9,529,083	0	0	9,529,083
支払リース料	3,377	0	0	3,377
保険料	3,870	0	0	3,870
諸謝金	4,331,938	0	0	4,331,938
租税公課	3,875,800	0	0	3,875,800
支払負担金	345,473	0	0	345,473
支払助成金	700,000	0	0	700,000
委託費	38,544,211	0	0	38,544,211
表彰費	2,307,420	0	0	2,307,420
雑費	291,803	0	0	291,803
管理費	0	31,927,958	0	31,927,958
給料手当	0	13,187,037	0	13,187,037
臨時雇賃金	0	1,096,370	0	1,096,370
退職給付費用	0	830,109	0	830,109
法定福利費	0	2,455,138	0	2,455,138
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	0	29,600	0	29,600
旅費交通費	0	308,633	0	308,633
通信運搬費	0	672,293	0	672,293
減価償却費	0	24,156	0	24,156
修繕費	0	279,180	0	279,180
消耗品費	0	447,393	0	447,393
印刷製本費	0	0	0	0
光熱水料費	0	68,295	0	68,295
賃借料	0	489,665	0	489,665
支払リース料	0	4,103,440	0	4,103,440
租税公課	0	3,800	0	3,800
支払負担金	0	1,096,488	0	1,096,488
委託費	0	6,694,170	0	6,694,170
雑費	0	142,191	0	142,191
経常費用計	126,024,121	31,927,958	0	157,952,079
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,328,576	18,133,943	0	8,805,367
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,328,576	18,133,943	0	8,805,367
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 9,328,576	18,133,943	0	8,805,367
一般正味財産期首残高	153,576,242	84,590,059	0	238,166,301
一般正味財産期末残高	144,247,666	102,724,002	0	246,971,668
Ⅱ　指定正味財産増減の部				0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,888,504	0	0	2,888,504
指定正味財産期末残高	853,299	0	0	853,299
Ⅲ　正味財産期末残高	145,100,965	102,724,002	0	247,824,967

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」

(平成 20 年 4 月 11 日(平成 21 年 10 月 16 日改正)内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 満期保有目的有価証券の評価基準及び評価方法

償却原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物…定額法を採用している。

(ただし，平成 10 年 3 月以前に取得した建物については定率法を採用している。)

器具備品…定率法を採用している。

無形固定資産

ソフトウェア…定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため，支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため，退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は，次のとおりである。

(単位：円)

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基　本　財　産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小　　計	10,000,000	0	0	10,000,000
特　定　資　産				
退職給付引当資産	16,410,221	4,356,802	0	20,767,023
標準物質開発基金	17,079,563	45	15,019,155	2,060,453
国際交流事業基金	30,300,000	301	0	30,300,301
分析化学研究奨励基金	8,380,845	11,719,321	0	20,100,166
預り保証金引当預金	6,000,000	0	1,000,000	5,000,000
支部研究懇談会特定預金	19,311,994	29,759,579	2,862,128	46,209,445
小　　計	97,482,623	45,836,048	18,881,283	124,437,388
合　　計	107,482,623	45,836,048	18,881,283	134,437,388

財務諸表に対する注記

3.　基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基　本　財　産				
定期預金	10,000,000	－	(10,000,000)	－
小　　計	10,000,000	－	(10,000,000)	－
特　定　資　産				
退職給付引当資産	20,767,023	－	－	(20,767,023)
標準物質開発基金	2,060,453	－	(2,060,453)	－
国際交流事業基金	30,300,301	－	(30,300,301)	－
分析化学研究奨励基金	20,100,166	－	(20,100,166)	－
預り保証金引当預金	5,000,000	－	－	(5,000,000)
支部研究懇談会特定預金	46,209,445	－	(46,209,445)	－
小　　計	124,437,388	－	(98,670,365)	(25,767,023)
合　　計	134,437,388	－	(108,670,365)	(25,767,023)

4.　固定資産の取得価額，減価償却累計額及び当期期末残高
固定資産の取得価額，減価償却累計額及び当期末残高は，次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物	57,522,500	48,978,359	8,544,141
器具備品	5,596,985	5,568,651	28,334
ソフトウエア	1,204,200	822,870	381,330
合　　計	64,323,685	55,369,880	8,953,805

5.　満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価及び評価損益
該当事項はありません。

6.　補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交　付　者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	日本学術振興会	2,888,504	0	2,035,205	853,299	指定正味財産
民間補助金	島津製作所等	0	3,695,190	3,695,190	0	－
合　　計		2,888,504	3,695,190	5,730,395	853,299	

7.　指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は以下の通りです。

内　容	金　額
経常収益への振替額	
受取国庫補助金計上による振替額	2,035,205
合　計	2,035,205

付　属　明　細　書

1.　基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記 3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため，内容の記載を省略する。

2.　引当金の明細

（単位：円）

科　　目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	そ の 他	
賞与引当金	1,997,963	2,029,997	1,997,963	0	2,029,997
退職給付引当金	44,800,133	2,219,538	0	0	47,019,671

財　産　目　録

（令和５年２月28日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	**手元保管**	運転資金として（本部現金156,952円）	**1,205,880**
	預金	**預金合計**		**121,739,766**
		普通預金		**27,124,186**
		三井住友銀行五反田支店	本部	19,293,564
		三井住友銀行五反田支店	本部講習会口	83,368
		三井住友銀行新宿通支店	本部	1,220,472
		三井住友銀行五反田支店	本部分析士口	1,023,790
		三井住友銀行五反田支店	本部科研費口	853,299
		みずほ銀行五反田支店	本部	2,265,220
		三井住友信託銀行芝営業部	本部	1,651
		鹿児島銀行みずほ通支店	若手交流会	94,940
		肥後銀行子飼橋支店	第72年会	1,233,858
		北陸銀行五福支店	第83回討論会実行委員会	1,054,024
		支部/普通預金		**40,673,622**
		北洋銀行本店営業部	北海道支部	3,113,195
		七十七銀行大学病院前支店	東北支部	6,430,799
		みずほ銀行五反田支店	関東支部	7,255,088
		みずほ銀行名古屋支店	中部支部	5,553,060
		りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	6,453,458
		りそな銀行御堂筋支店	近畿支部近畿分析技術研究懇話会	3,031,800
		広島銀行西条支店	中国四国支部	8,836,222
		研究懇談会/普通預金		**34,384,019**
		みずほ銀行南大沢支店	環境分析研究懇談会	526,766
		武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	4,638,043
		りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	1,005,176
		りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	12,840,198
		りそな銀行五反田支店	高分子分析討論会	4,211,128
		セブン銀行コスモス支店	分析試薬研究懇談会（壹岐伸彦名義）	522,951
		りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	3,669,375
		りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	1,438,558
		十六銀行黒野支店	電気泳動分析研究懇談会	684,959
		荘内銀行宝田支店	電気泳動分析研究懇談会	249,495
		四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,800,259
		三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会	1,863,103
		三菱UFJ銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	471,096
		足利銀行宇都宮東支店	化学分析技能研究懇談会	97,672
		京都銀行下鴨支店	電気分析化学研究懇談会	107,507
		みずほ銀行渋谷中央支店	バイオ分析研究懇談会	78,578
		三菱UFJ銀行上野支店	スクリーニング分析研究懇談会	179,155
		ゆうちょ銀行（通常貯金）		**13,093,391**
			近畿支部	1,307,925
			九州支部	5,870,088
			溶液反応化学研究懇談会	58,457
			有機微量分析研究懇談会	1,723,598
			X線分析研究懇談会	3,511,778
			化学センサー研究懇談会	92,494
			イオンクロマトグラフィー研究懇談会	226,160
			溶液界面研究懇談会	126,051
			ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会	176,840
		ゆうちょ銀行（振替口座）	運営資金として	**4,658,489**
			本部	1,247,622
			環境分析研究懇談会	652,937
			有機微量分析研究懇談会	522,026
			フローインジェクション分析研究懇談会	105,557
			表示・起源分析技術研究懇談会	2,130,347
		定期預金		**1,806,059**
		りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	506,059
		広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000
	売掛金	標準物質，教育DVD	公益目的事業での販売商品に対する未収額	**1,973,620**
	未収入金	広告料，雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷	**3,155,075**
	前払金	討論会・年会実行委員会他		**3,211,047**
	討論会		第83回討論会	945,980
	年会		第72年会	766,150
	その他		業者委託費	1,498,917
	棚卸資産	会誌/標準物質/教育DVD/分析士解説書	公益目的事業で販売している商品	**30,085,215**
	標準物質			25,597,322

財　産　目　録

（令和５年２月28日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
	DVD			1,856,500
	分析士解説書			2,598,925
	その他			32,468
	貯蔵品	切手，印紙，はがき等	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	**89,071**
	一年以内回収長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以内回収予定額	**199,920**
	仮払金			**384,367**
	労働保険料		労働保険料未精算分	384,367
流動資産合計				162,043,961
（固定資産）				
基本財産				
	定期預金		運用益を管理費の財源として使用	**10,000,000**
		三井住友信託銀行芝営業部		10,000,000
特定資産				
	退職給付引当資産		職員の退職金の支払いのために使用	**20,767,023**
	普通預金	みずほ銀行五反田支店	支払の財源として使用	20,767,023
	標準物質開発基金		標準物質開発事業の積立資産であり，運用益を本事業の財源として使用	**2,060,453**
	普通預金	三井住友銀行五反田支店		2,060,453
	預り保証金引当預金			**5,000,000**
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金であり，運用益を本事業の財源として使用	5,000,000
	国際交流事業基金		公益目的保有財産であり，運用益を国際交流事業の財源として使用	**30,300,301**
	普通預金	三井住友銀行五反田支店		30,300,301
	分析化学研究奨励基金		公益目的保有財産であり，運用益を研究の奨励及び研究業績の表彰事業の財源として使用	**20,100,166**
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部		20,100,166
	支部研究懇談会特定預金		各支部研究懇談会の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用	**46,209,445**
	普通預金	七十七銀行大学病院前支店	東北支部企画基金	1,497,472
		七十七銀行大学病院前支店	東北支部活性化基金	3,018,827
		みずほ銀行名古屋支店	中部支部	1,689,715
		りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	2,201,252
		四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,622,755
		三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会国際会議	3,430,648
		三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会技術論文	339,214
	定期預金	みずほ銀行五反田支店	関東支部	11,660,402
		りそな銀行五反田支店	高分子研究懇談会	13,023,566
		ゆうちょ銀行	X線分析研究懇談会	3,326,000
		りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	4,399,594
その他				
	建物	220.4 m^2 東京都品川区西五反田		**8,544,141**
	器具備品	東京都品川区西五反田	主たる事務所で保有し，公益目的事業及び法人の管理業務で使用	**28,334**
	土地	30.22 m^2 東京都品川区西五反田	主たる事務所　公益目的事業及び法人の管理業務で使用している	**30,607,799**
	電話加入権	3490-3351 他 6本	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	**28,000**
	ソフトウエア	論文投稿管理システム	公益目的事業で使用している	**381,330**
	敷金	近畿支部	入居している大阪科学センターに対する敷金	**100,000**
	長期貸付金	職員住宅購入資金貸付		**928,200**
固定資産合計				**175,055,192**
資産合計				**337,099,153**
（流動負債）				
	未払金	環境テクノス他	標準物質管理業務に対する未払額など	**3,677,724**
	前受会費	翌年度の会費の前受額	会員からの翌年度分の会費の前受額	**25,738,750**
	前受金	高分子分析研究懇談会他	翌年度実施技術講習会の前受額	**879,000**
	前受購読料	翌年度購読料の前受額	公益目的事業で発行する雑誌購読料の前受額	**1,906,500**
	預り金	所得税 社会保険料等		**593,594**
	健康保険料			112,785
	厚生年金保険料			200,385
	源泉所得税			28,192
	住民税			136,300
	その他			115,932

財　産　目　録

（令和５年２月28日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　　額
	仮受金			**84,650**
	賞与引当金	職員４名の夏期賞与	職員４名の夏期賞与の支払いに備えたもの	**2,029,997**
	未払消費税等			**2,344,300**
流動負債合計				
（固定負債）				
	退職給付引当金	職員４名の退職金	職員４名の退職金の支払いに備えたもの	**47,019,671**
	預り保証金	(株)明報社	会誌広告に関して受け入れたもの	**5,000,000**
固定負債合計				**52,019,671**
負　債　合　計				**89,274,186**
正　味　財　産				**247,824,967**

監　事　監　査　報　告　書

公益社団法人日本分析化学会
会長　　早下　隆士　殿

令和５年３月 29 日
公益社団法人日本分析化学会

監事　金澤秀子

監事　田中俊逸

私たち監事は、公益社団法人日本分析化学会の令和４年３月１日から令和５年２月 28 日までの令和４年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

１．監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規程第７条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人から業務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、令和４年度事業報告を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及び付属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

２．監査結果

一、事業報告は、法令及び定款に従い、当社団法人の状況を正しく示していると認めます。
二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
三、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当社団法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
四、引き続き財政状況を注視するとともに、会員の減少を抑制する対策に着手することを望みたい。

以上

令和5年度事業計画書

（令和5年3月1日～令和6年2月29日）

1. 定時総会の開催（定款第17条）

第12回定時総会を下記のとおり行う。

日時　令和5年4月26日（水）14時より

場所　Web会議

参加予定者数116人。

2. 会誌，研究報告および資料の刊行（定款第5条（1））

①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。

2023年第3号～2024年第2号　毎月1回，5日に発行（各号A4判，100ページ）。電子版発行（全ての団体会員と個人会員の希望者には冊子体発行）

②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。

第72巻第3号～第12号を7回，および第73巻第1号と2号の合併号を2024年1月に，それぞれ5日に発行（各号A4判，90ページ）発行部数1,800

③英文論文誌「Analytical Sciences」をSpringer Nature社から下記のとおり発行する。

Vol.39，No.3～Vol.40，No.2を毎月1回発行

④学会，ぶんせき，分析化学，Anal. Sci. 4種のメールマガジンを発行する。

⑤「分析士試験問題の解説」（本会）等の書籍を出版する。

3. 講演会および研究会の開催（定款第5条（2））

各支部ならびに研究懇談会が主催するものは別に記載する。

［研究発表会］

①第83回分析化学討論会を下記のとおり行う。

日時　令和5年5月20日（土）・21日（日）

場所　富山大学五福キャンパス）　参加予定者数600人

②第72年会を下記のとおり行う。

日時　令和5年9月13日（水）～15日（金）

場所　熊本城ホール　参加予定者数1,000人

4. 調査，研究および建議（定款第5条（3））

［技能試験］参加予定試験所数：合計100試験所

ISO/IEC17043に基づく分析試験所技能試験を行う。

予定テーマ

ダイオキシン類分析技能試験（フライアッシュ）　50試験所

放射能分析技能試験（大豆）　50試験所

［標準物質］

新標準物質は作製せず，これまで開発してきた各種標準物質の安定性試験を継続して行い，必要に応じて再認証を行い，社会への供給活動を継続する。

5. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款第5条（4））

①学会賞，学会功労賞，技術功績賞，奨励賞，有功賞，「分析化学」論文賞，先端分析技術賞ならびに女性Analyst賞を下記のとおり表彰する。

学会賞（3名以内），学会功労賞（5名以内），技術功績賞（3名以内），奨励賞（5名以内），有功賞（50名程度），「分析化学」論文賞（2編以内），先端分析技術賞（2名以内），女性Analyst賞（2名以内）

②他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

6. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条（5））

①ホームページを全面的に改訂し，本会から会員への情報提供，会員相互のコミュニケーション促進などに役立てるとともに，本会の社会への窓口として有効に活用する。

②本会の広報活動として，各種展示，分析化学討論会および年会におけるハイライト講演をまとめた冊子「展望とトピックス」の発行および報道関係記者への連絡などを行う。

③若手交流会の活動を次のとおり行う。

・各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。

・分析化学討論会及び年会において若手ポスター賞選考を行う。

④10月9日～12日にマレーシアで開催されるAsianalysis 2023に出席し，アジアの分析化学者との連携をはかる。

⑤分析士認証活動については，液体クロマトグラフィー研究懇談会及びイオンクロマトグラフィー研究懇談会の項にて述べる。分析士会を開催して講演会などの活動を行う。

7. 各研究懇談会の事業計画

①有機微量分析研究懇談会

委員会を2回，第90回有機微量分析研究懇談会シンポジウム（計測自動制御学会・力学量計測部会と共催，日本分析化学会，日本化学会，日本薬学会協賛）を6月にオンライン，講演会（第72年会会期中），ミクロ電子天びんオンラインセミナー（座学オンライン，2回開催予定）を開催するほか会報第25号(2024年2月)を発行する。ホームページを順次更新し，内容の充実を図る。創立70周年記念事業として過去10年間のシンポジウム講演要旨集や会報のDVD化などを行う。

②ガスクロマトグラフィー研究懇談会

例会を数回，特別講演会，講習会（実習付含む）を開催する。例会の中で基礎講座を開催する（受講証を発行）。開催形式として会場とオンライン会議室の併用やWebセミナーを継続する。分析化学年会で特別講演会を開催する。本部運営となった日中韓シンポジウムの開催に協力する。ガスクロ誕生70周年記念事業として表彰，出版等の準備に着手する。研究懇談会活動の過去記録，講演会資料等をホームページで公開する等更にホームページを充実させる。運営委員会をWEB併用して開催する。

③高分子分析研究懇談会

例会を5回（内1回は夏季合宿），年会時に講演会を開催，高分子分析技術講習会を2回(前期:基礎編,後期:応用編)，第28回高分子分析討論会を11月につくば国際会議場で開催する。

④X線分析研究懇談会

例会を数回（うち1回は年会時に開催）と第59回X線分析討論会（11月頃，2日間，東京都内）を開催し，「X線分析の進歩」誌（第54集）を出版する。講習会は開催しない。運営委員会は年に2回開催する。第18回浅田賞の選考・授与を行う。

⑤分析試薬研究懇談会

第72年会での講演会と幹事会および第20回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム（共催：東京都立大学南大沢キャンパス，6月17日・18日）での招待講演を開催する。

⑥液体クロマトグラフィー研究懇談会

運営委員会を11回,例会を12回(うち1回は年会時に開催)，液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を2回，「HPLC & LC/MS講習会2023」(11月)，「LC- & LC/MS-DAYs 2023」(12月)，「第29回LC & LC/MSテクノプラザ」(1月)を開催する。「第5回LC分析士三段試験解説書（27冊目)」，「LC & LC/MS用語辞典」，「第5回LC/MS分析士初段試験解説書(28冊目)」の出版に向け，それぞれ査読会を3月，4月，8月に実施する。第83回分析化学討論会の前日に開催される第19回生涯分析談話会，第72年会の初日に開催される第20回生涯分析談話会をそれぞれ後援する。LC分析士，LC/MS分析士の認証試験（各5回）に対する認証専門委員会を構成し，それぞれ試験を実施する。

⑦化学センサー研究懇談会

第83回分析化学討論会にて，化学センサー・バイオセンサーをはじめ，関連分野のシンポジウムを行う。また，日本分析化学会第72年会期間中に研究懇談会講演会を開催する。必要に応じて他の研究懇談会とのジョイント講演会も検討する。また化学センサー関連国際会議等，関連する情報の情報交換を行う。女性Analyst賞の推薦等，メール審議事項の承認を行う。

⑧電気泳動分析研究懇談会

講演会を1回（会期間中）開催するほか，第43回キャピラリー電気泳動シンポジウム（SCE2023）（11月，名古屋市）を共催する。電気泳動分析研究懇談会賞（寺部茂賞）の選考，褒章を行う。また，本懇談会ホームページ（HP）の整備を行い，シンポジウムの要旨集アーカイブのHP上での公開ほか，プロ

トコール集，基礎講座動画の作成・掲載など内容の充実を図る。

⑨イオンクロマトグラフィー研究懇談会
分析士（初段）のオンライン試験（1 月下旬）を実施予定。分析士（3 段）のオンライ試験（6 月下旬）を実施予定および分析士専門認証委員会を年 2 回開催予定。IC 企画講演会(9 月，第 72 年会）を開催予定。IC 講習会及び JAIMA セミナー（9 月第 1 週，JASIS 開催期間中）を開催予定。第 39 回 IC 討論会（12 月，場所未定，オンライン/対面）を開催予定。運営委員会を年 2 回開催予定（メール会議を含む)。

⑩フローインジェクション分析研究懇談会
第 59 回 FIA 講演会（11 月予定，徳島大学）を開催する。褒賞委員会を第 72 年会会期中に開催する。第 72 年会会期中に研究懇談会講演会を行う。第 83 回分析化学討論会会期中および第 59 回 FIA 講演会会期中に「Journal of Flow Injection Analysis」(JFIA) 誌編集委員会を開催するほか，第 59 回 FIA 講演会中に JAFIA 委員会を開催する。JFIA 誌を 2 回（6 月，12 月）発行する。日中韓分析化学シンポジウムの開催に協力する。The 22nd International Conference on Flow Injection Analysis（5 月，フランス）を共催する。

⑪環境分析研究懇談会
講演会を 2 回（第 72 年会会期中および 6 月または 12 月)，運営委員会を 1 回（第 72 年会会期中）開催する。また，他の研究懇談会や研究会との交流を深め，必要に応じてジョイント講演会を開催する。会員拡充に努め，メーリングリストとホームページを活用した情報発信・情報交換も適宜行う。

⑫表示・起源分析技術研究懇談会
講演会を 3 回（第 72 年会会期中および年度前半・後半)，運営委員会を 2 回開催する。また，必要に応じ他研究会とのジョイント講演会を開催する。

⑬化学分析技能研究懇談会
講演会を 2 回（第 72 年会会期中および 6 月または 12 月)，運営委員会を 1 回（第 72 年会会期中）開催する。また必要に応じ関連する他の研究懇談会とのジョイント講演会を開催する。なおメーリングリストを作成し，適宜情報交換を行う。

⑭熱分析研究懇談会
講演会を 1 回開催予定。熱分析討論会を 1 回開催予定。運営委員会を 5−6 回開催する。またメーリングリストを活用し，情報交換を行う。

⑮溶液反応化学研究懇談会
講演会を 1 回と懇談会を 1 回（いずれも第 72 年会中）開催する。第 45 回溶液化学シンポジウム（山形）および第 13 回イオン液体討論会（新潟）を共催する。メーリングリストを作成し適宜情報交換を行うとともに，会費徴収を試行する。

⑯電気分析化学研究懇談会
第 83 回分析化学討論会にて，討論主題「未来の「食」と「薬」を創る分析化学」を立てて依頼講演 6 人（予定）を含むシンポジウムを実施予定である。また，第 72 年会において，依頼講演による講演会および運営委員会を各 1 回，開催するほか，メールによる情報交換を行う。新規運営委員の募集を図る。

⑰ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会
第 72 年会において，依頼講演による講演会および運営委員会を開催する。他の懇談会とジョイント講演会を開催する。

⑱バイオ分析化学研究懇談会
本研究懇談会は，バイオ分析化学の研究者間での情報交換や交流，共同研究の促進等を目的とする。8 月に感染対策を徹底した対面形式の夏の合同セミナー，9 月に第 72 年会でのシンポジウムを企画する。また，運営委員会をさらに拡充・充実させると共に，ホームページなどでバイオ分析研究懇談会をアピールして会員増強を図る。

⑲スクリーニング分析研究懇談会
講演会を 2 回(年度前半･後半)，運営委員会を 1 回開催する。またメーリングリストを活用し，会員間での情報交換を行う。なお，計画は新型コロナウイルスの情況に応じて適宜見直すものとする。

8. 各支部の事業計画

定款第 5 条の事業を次のとおり行う。

【北海道支部】

①研究発表会：夏季研究発表会（7 月上旬)，冬季研究発表会（1 月中旬）を開催する。
②講演会：化学教育研究協議会（11 月上旬）を開催する。
③セミナー：第 39 回分析化学緑陰セミナー（7 月)，公開セミナー（9 月)，第 59 回氷雪セミナー（1 月上旬）を開催する。
④支部ニュースの発行：7 月，12 月（年 2 回)

【東北支部】

①研究発表会：みちのく分析科学シンポジウム 2023 の開催ならびに令和 5 年度化学系学協会東北大会を共催する。
②講演会：各地区講演会を開催する。
③セミナー：分離機能とセンシング機能の化学セミナー2023，2023 年度日本分析化学会東北支部若手交流会を開催する。
④表彰：東北支部各賞の公募と表彰，東北支部助成金の公募と助成を実施。

【関東支部】

①講習会：分析化学セミナー，機器分析講習会，分析化学基礎実習講座の開催を予定。
②地区活動等：新潟地区部会研究発表会，茨城地区分析技術交流会，群馬・栃木地区分析技術交流会，山梨地区分析交流会，横浜セミナー，若手交流会の開催を予定。
③表彰：新世紀賞・新世紀新人賞の公募と表彰を予定。
④産官学連携：分析イノベーション交流会の開催を予定。
⑤研究交流助成：研究フォーラム公募と助成を実施。
⑥上記支部活動広報のためのホームページほか，常任幹事会で必要と認められた事項を実施。

【中部支部】

①研究発表会：第 54 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会（三重大学）を共催の予定。第 83 回分析化学討論会（2023 年 5 月，於富山大五福キャンパス）の開催準備・運営。
②講演会：愛知・静岡・石川での地区講演会，および研究者招聘講演会の開催を予定
③講習会：第 33 回基礎および最新の分析化学講習会を開催の予定。
④セミナー：第 40 回分析化学中部夏期セミナー，「分析中部・ゆめ 21」若手交流会・第 23 回高山フォーラムを開催の予定。

【近畿支部】

①講演会：支部講演会（4 月，7 月，12 月)，近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会（3 月）を開催予定。
②講習会：ぶんせき講習会・基礎編（1，2）（5 月，6 月)，同・実践編（第 68 回機器による分析化学講習会）（7 月)，同・発展編（会期未定）を開催予定。
③セミナー：提案公募型事業（随時)，第 17 回近畿支部夏季セミナー「ぶんせき秘帖」を開催予定。
④支部ニュースの発行（年 2 回発行予定)
⑤支部創設 70 周年記念事業（9 月）を開催予定

【中国四国支部】

①講演会：支部講演会（3 月），岡山・広島・宇部山陽小野田・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会，外国人学者講演会を開催の予定。
②セミナー：第 29 回中国四国支部分析化学若手セミナー（山口）を開催の予定。

【九州支部】

①研究発表会：第 60 回化学関連支部合同九州大会（7 月）を開催の予定。日本分析化学第 72 年会（2023 年 9 月，於熊本城ホール）の開催準備・運営。
②講演会：第 36 回若手研究講演会および第 41 回夏季セミナー（7 月)，支部講演会・見学会（11 月）のほか，機器分析ワークショップや外国人講演会，地区懇談会などを随時開催の予定。
③講習会：第 61 回分析化学講習会を開催の予定。
④支部ニュースの発行（年 2 回発行予定)

令 和 5 年 度 予 算 書

（令和５年３月１日～令和６年２月29日）

（単位：円）

科　　目	令和５年度予算額(税込)	令和４年度予算額(税込)	増　　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経 常 収 益			
基本財産運用益	200	4,000	△ 3,800
基本財産受取利息	200	4,000	△ 3,800
特定資産運用益	640	6,000	△ 5,360
退職給付引当資産	200	100	100
標準物質開発基金	100	3,200	△ 3,100
分析技術教育基金	0	700	△ 700
国際交流事業基金	300	100	200
分析化学研究奨励基金	0	800	△ 800
預り保証金引当預金	0	1,100	△ 1,100
支部研究懇談会特定預金	40	0	40
受取入会金	127,000	57,000	70,000
受取入会金	127,000	57,000	70,000
受取会費	67,627,000	73,823,000	△ 6,196,000
正会員受取会費	24,199,000	27,022,000	△ 2,823,000
学生会員受取会費	1,726,000	1,708,000	18,000
維持会員受取会費	13,327,000	14,630,000	△ 1,303,000
特別会員受取会費	15,717,000	14,957,000	760,000
公益会員受取会費	6,091,000	8,723,000	△ 2,632,000
支部研究懇談会受取会費	6,567,000	6,783,000	△ 216,000
賛助会員受取会費	0	0	0
事業収益	102,403,000	101,394,000	1,009,000
購読料収入	6,659,000	6,668,000	△ 9,000
年会収入	12,510,000	13,680,000	△ 1,170,000
討論会収入	6,540,000	6,940,000	△ 400,000
講演会収入	6,534,000	6,694,000	△ 160,000
講習会収入	11,443,000	12,260,000	△ 817,000
研究懇談会収入(含む若手の会)	450,000	400,000	50,000
技能試験収入	6,262,000	6,534,000	△ 272,000
分析士事業収入	1,040,000	5,258,000	△ 4,218,000
支部研究懇談会討論会収入	4,109,000	3,864,000	245,000
印税収入	861,000	868,000	△ 7,000
教材頒布収入	110,000	296,000	△ 186,000
標準物質収入	17,341,000	10,000,000	7,341,000
広告料収入	22,531,000	20,884,000	1,647,000
別刷頒布収入	5,974,000	7,038,000	△ 1,064,000
複写権使用収入	39,000	10,000	29,000
JIS 改正受託収入	0	0	0
事務委託収入	0	0	0
受取補助金等	2,084,000	2,636,000	△ 552,000
受取国庫補助金	0	0	0
受取民間補助金	1,474,000	1,300,000	174,000
自治体補助金	0	0	0
本部からの補助金	0	0	0
その他からの補助金	610,000	344,000	266,000
受取補助金	0	992,000	△ 992,000
受取寄付金	370,000	370,000	0
受取寄付金	370,000	370,000	0
雑収益　雑収入	3,030,000	3,785,000	△ 755,000
受取利息収入	34,000	39,000	△ 5,000
雑収入	2,996,000	3,746,000	△ 750,000
経 常 収 益 計	175,642,000	182,076,000	△ 6,434,000
(2)経 常 費 用			
事 業 費	137,469,000	143,695,000	△ 6,226,000
給与手当	19,906,000	22,397,000	△ 2,491,000
臨時雇賃金	8,087,000	10,740,000	△ 2,653,000
退職給付費用	1,082,000	1,808,000	△ 726,000
法定福利費	3,402,000	3,483,000	△ 81,000
会議費	18,195,000	18,904,000	△ 709,000
旅費交通費	7,404,000	6,916,000	488,000
通信運搬費	1,728,000	2,009,000	△ 281,000

令 和 5 年 度 予 算 書

（令和５年３月１日～令和６年２月29日）

（単位：円）

科　　目	令和５年度予算額(税込)	令和４年度予算額(税込)	増　　減
減価償却費	700,000	700,000	0
修繕費	1,045,000	1,045,000	0
消耗品費	2,047,000	2,930,000	△ 883,000
印刷製本費	16,968,000	19,064,000	△ 2,096,000
光熱水料費	250,000	250,000	0
賃借料	4,146,000	3,956,000	190,000
支払リース料	210,000	160,000	50,000
支払保険料	15,000	469,000	△ 454,000
諸謝金	7,445,000	7,320,000	125,000
租税公課	2,932,000	3,370,000	△ 438,000
支払負担金	283,000	284,000	△ 1,000
支払助成金	5,060,000	2,440,000	2,620,000
委託費	33,320,000	21,620,000	11,700,000
表彰費	1,996,000	2,619,000	△ 623,000
雑費	548,000	4,230,000	△ 3,682,000
会長企画戦略経費	0	6,881,000	△ 6,881,000
記念行事費・情報交換会費	700,000	100,000	600,000
管 理 費	38,173,000	38,381,000	△ 208,000
給与手当	11,944,000	9,594,000	2,350,000
臨時雇賃金	4,387,000	5,755,000	△ 1,368,000
退職給付費用	649,000	886,000	△ 237,000
法定福利費	2,041,000	1,460,000	581,000
福利厚生費	72,000	72,000	0
会議費	0	0	0
旅費交通費	1,023,000	996,000	27,000
通信運搬費	1,940,000	1,940,000	0
減価償却費	27,000	27,000	0
修繕費	261,000	261,000	0
消耗品費	399,000	1,027,000	△ 628,000
印刷製本費	225,000	225,000	0
光熱水料費	97,000	97,000	0
賃借料	357,000	357,000	0
支払リース料	4,086,000	4,042,000	44,000
租税公課	7,000	7,000	0
支払負担金	1,623,000	1,623,000	0
委託費	9,031,000	10,008,000	△ 977,000
雑費	4,000	4,000	0
会長企画戦略経費	0	0	0
経 常 費 用 計	175,642,000	182,076,000	△ 6,434,000
評価損益調整前当期増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	246,971,668	238,166,301	8,805,367
一般正味財産期末残高	246,971,668	238,166,301	8,805,367
Ⅱ　指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	△ 853,299	△ 2,888,504	2,035,205
指定正味財産期首残高	853,299	2,888,504	△ 2,035,205
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	246,971,668	238,166,301	8,805,367